

# 図書館

としよだより

## だより

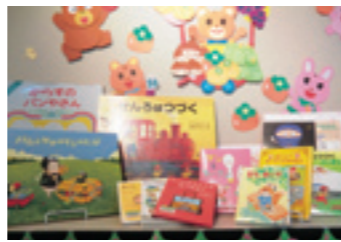
### 問い合わせ先

泗水図書館 ☎0968 (38) 6866  
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672  
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580  
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111  
 内線303

### 閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日  
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日  
 七城公民館図書室 日曜日・祝日  
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

※図書イベント情報は、32ページの行事予定に掲載しています。



児童コーナーでは、絵本や物語のほかに子どもたちが喜ぶ大型絵本や紙芝居も取り揃えています。ぜひお越しください。(七城公民館図書室)

## 新着・お薦め図書

### 泗水図書館

謎解きはディナーのあとで2  
 かわいそうだね?  
 花明かり (深川篤龍)  
 持ち重りする薔薇の花  
 はげましてはげまされて  
 100歳までボケない101の方法  
 ルルとララシリーズ  
 ターシャのかずのほん

東川篤哉 著  
 綿矢りさ 著  
 山本一力 著  
 丸谷才一 著  
 竹浪正造 著  
 白沢卓二 著  
 あんびるやすこ 著  
 ターシャ・テューダー 絵

### 中央公民館図書室

戦国業師列伝  
 ひと皿の朝ごはん  
 昼寝の神様  
 チームみらい  
 やさしいヒーロー

津本陽 著  
 貝谷郁子 著  
 松尾祐一 著  
 吉野万理子 作  
 タダシンヤ 作

### 七城公民館図書室

司法記者  
 かつぱ

由良秀之 著  
 杉山亮 作

### 旭志公民館図書室

ママのための防災ハンドブック  
 こよみともだち

国崎信江 著  
 わたりむつこ 作

## 耳より情報

### 平成23年度おはなし講座

今年も図書館で楽しく学びませんか?  
 参加希望の方は泗水図書館までお申し込みください。

#### 第1回 「芝居で楽しむ物語」

～とめばあちゃんのメッセージ～

と き 1月14日(土) 午前10時30分～正午  
 講師 木内里美さん

※詳しくは館内配布のチラシまたは図書館ホームページをご覧ください。(泗水図書館)

(次回予告)

#### 第2回 「新聞のおもしろ読み方」

と き 2月4日(土) 午前10時30分～正午  
 講師 荒木正博さん(熊日論説委員)

#### お詫びと訂正

広報きくち平成23年12月号21ページで紹介した次の作者名(ふりがな)に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤 殺意は必ず三度ある 東川篤哉 著  
 正 殺意は必ず三度ある 東川篤哉 著

## 「ホスピタルクラウン・Kちゃんが行く」 あんずゆき文 笑って病気をぶっとばせ!

ぼくが、感動して気に入りに、おススメしたい本は、「ホスピタルクラウン・Kちゃんが行く」です。みなさんはホスピタルクラウンって知ってますか?病院をおとずれて、患者さんに笑いをとどけるピエロのようなクラウン(道化師)です。Kちゃんが、ホスピタルクラウンになりたてで初めて病室に入った時、心がクラウンではなく一人の人間に戻ってしまいます。その時子どもの患者から、「同情しなくていいよ」と言われ、シヨックをうけてしまいます。でも、日赤病院でそれを克服し、小児センターの患者さんたちに、手品



柳田勘汰くん (水源小6年)

やバルーンをして見せ、時にはいたずらしたりおどけたりして、笑わせ、楽しませ、元気にしていきます。中でも、白血病のまあくくんをクラウンショーなどで元気にしていく場面は、とても感動しました。ぼくも、こんなふうになんか役に立つことや、人を楽しませたいです。ホスピタルクラウンみたいに、国境なく、差別もなく、仲良くしていく柱になりたいです。

### 万句の里俳句会 11月例会

長き夜を虚子五百句に没頭す 鋤本 トミ  
 懸崖の長さを遊び秋の蝶 田中ひさ子  
 懐に姉の計を抱き落葉焚く 東 鈴子  
 小春日や遠くより孫久し振り 稲田 羚子  
 お茶席の庭一斉の紅葉かな 梅田 昭子

### せせらぎ俳句会 11月例会

ドライブと洒落て通院朝寒し 服部 静子  
 肥後菊の線真つ直ぐの見事かな 藤本アツ子  
 親子して茶髪の似合う七五三 五丁 義昭  
 秋の海雲染め上げしあかね空 寺本 和子  
 出漁の船音に覚め秋の宿 藤本 邦治

### 旭志文芸俳句会 11月詠草

湯上がりの肌に優しき十三夜 東 芳子  
 蜘蛛の囀に三日続きの雨の宿 芹川 蓉子

### 仏壇の花探し行く白露かな

水谷 ミネ  
 からす瓜茨に絡むけもの径 芹川のり子  
 被災地の剣士の笑顔や秋の陣 中尾ヨシコ

### 肥後狂句桜会 11月例会

エネルギー 朝刊読んで出かけさす 田中 孝幸  
 待った 彼からやっとプロポーズ 田中レイ子  
 乱暴な 脱原発であるもんか 田尻 浩風  
 胸張って 当ててくれちゆう手の上 高木 房恵  
 義理がたさ 顔の浮かばん年賀状 高倉 新米

### 肥後狂句水笑会 11月例会

まぜくつて 人の話ばおつとらす 平井 江彩  
 天高く 夜空の果てに見ゆる星 井手 水光  
 秋の暮れ 茶飲み友達おらんどか 吉岡 三水  
 まぜくつて よか縁談もつくざさす 続 義昭  
 天高く 馬より先にきやア肥えた 山隈 好茶

### 七城短歌会 11月詠草

秋祭りに買ひし甘蔗を肩にかけ帰路を勇みし幼な友思ふ 岩津 涼子  
 盛りなる紅葉の山峡思ひ出に小葉を摘みては手帳に挟む 吉間 充子  
 検診を明日に控え落ち着かず指定の時間に下剤を呑みぬ 池田カツ子  
 かあかあと鴉が頭上とんでゆくここは山道墓への小道 松岡みちえ  
 花苗を植えんと裏畑堀起すドクダミ根深く猛臭放つ 水田紗陽子

### 里短歌会 11月詠草

もつれつつ蝶たわむるる花畑に秋日と風とわたくしひとり 岡本 トシ  
 冬然れば裡に宿りし亡母の味鯨大根よのつぺえ汁よ 松本 幾代  
 カーテンの一箇所まるくふくらみて日向ぼつこの猫眠りをり 安見 朱實  
 萩原を押し分け辿りし地蔵峠松虫草の風に揺れる 林 淑子  
 オルガンもピアノも他家へ譲りたる二人の生活に夕茜射す 山城 雅子



# 文芸

ぶんげいきくち

## きくち

### 菊池短歌会 12月詠草

老人のひと夜泊りの「藍の岬」今を石路黄と真盛る 岩木 妙子  
 海と空境界もなく藍に染む島の信者の祈りの色に 岩永富美子  
 咲き増えて花ホトトギス老にさへ飛べと誘ふとき一隅 氏岡 百枝  
 林道の冬日は温し靴底に落葉の嵩の乾く音して 梅田 昭子  
 今暫し霜降るなかれ庭の菊いま冴えざえと彩ひてをれば 梅野カヲル